

我が国の~~核物質その他の放射性物質等の~~ 防護の核セキュリティに対する基本的考え方に盛り 込むべき要素について

I 我が国の~~核物質その他の放射性物質等の~~防護核セキュリティに 対する基本的考え方

- ・この文書において「~~核物質その他の放射性物質等の~~防護核セキュリティ」とは、核物質、その他の放射性物質又はそれらに関連した施設に関する盗取、妨害破壊行為、不法なアクセス、不法な譲渡その他の不法行為を阻止し、これらの行為を検知し、対応することである。

1. 共通事項（基本的考え方）

1－1【国の責任】

国は、その管轄下にある核物質~~や~~、その他の放射性物質、関連施設及び関連活動に適用できる適切かつ効果的な~~核物質その他の放射性物質等の~~防護核セキュリティの体制を確立し、実施し、維持し、継続すること。

1－2【責任の割当て】

国は、関係行政機関及び関係事業者の~~核物質その他の放射性物質等の~~防護核セキュリティの責任を明確に定義し、割り当てることとする。その責任として、~~核物質その他の放射性物質等の~~防護核セキュリティの体制の責任を適切に統合及び調整すること、継続的に責任の割当ての妥当性及び有効性を監視することを含めることとする。

1－3【法令の整備】

国は、~~核物質その他の放射性物質等の~~防護核セキュリティを管理するため、行政上の措置を含む法令上の枠組みを定めることとする。

その枠組みとして、~~法的権限のある関係行政機関の確立~~、関係行政機関における~~法的権限及び~~人材、予算及び技術的能力の確保、関係行政機関同士及び関係行政機関と関係事業者の間での調整と情報交換の方法、~~規制行政機関における適切な独立性の確保~~、~~核物質その他の放射性物質等の~~防護核セキュリティに関する規則と要件、核物質及びその他の放射性物質の所在確認、管理及び防護を確実にする制度を含むこととする。また、機微情報の秘密性を

守るための規則と要件、核物質、その他の放射性物質、関連施設、関連活動及び機微情報の防護の第1の責任が関係事業者にあること、認可を受けた者が不在の際のセキュリティ責任に関する手続き、法執行制度と措置の確立、不正取引への対応、法令、規則及び要件の遵守のための仕組みを含めることとする。

＜上記本文変更の根拠となる基本文書の変更箇所＞

3.3. Legislative and Regulatory Framework

- i. Establish competent authorities, including regulatory bodies, with adequate legal authority to fulfil their assigned nuclear security responsibilities

「所管当局へ法的権限を提供する」としていたが、「法的権限のある所管当局を確立する」と変更された。

3.3. Legislative and Regulatory Framework

- iv. Ensure that regulatory bodies have appropriate independence in their nuclear security decision making. Independence includes both functional and financial independence from the entities they regulate and from any other bodies that deal with the promotion or utilization of nuclear material or other radioactive material

規制機関において核セキュリティに関する決定を行う上での適切な独立性に係る規定が追加された。

3.3. Legislative and Regulatory Framework

- ix. Ensure that there are procedures for the State, or a designated entity, to assume the primary responsibility for security in the absence of the authorized persons

認可を受けた者が不在の際のセキュリティ責任に係る規定が追加された。

3.3. Legislative and Regulatory Framework

- x. Establish law enforcement systems and measures relevant to nuclear security. These systems and measures should include those for the export, import and for border control of nuclear material and other radioactive materials. This includes security procedures for transport that are consistent with the responsibilities as set forth in Essential Element 3.4 when international transportation is involved.

核物質及びその他の放射性物質の輸出入、国境管理を含んだ法執行制度と措置の規定が追加された。

3.3. Legislative and Regulatory Framework

- xi. Take appropriate and effective steps to prevent, deter, detect, respond to, and otherwise combat illicit trafficking in nuclear material and other radioactive materials

不正取引の防止、阻止、検知及び対応に係る規定が追加された。

1－4【輸出入における防護核セキュリティ】

国は、核物質及びその他の放射性物質の輸出、輸入等において核物質及びその他の放射性物質の防護核セキュリティを適切かつ有効に管理すること

1－5【国際協力及び支援】

国は、核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティの制度の確立、実施、維持及び継続に関する意見及び情報交換のための国際協力及び支援の制度を確立すること。

また、国際協力と支援においても、機微情報は防護すること。

1－6【防護核セキュリティ体制の維持】

国は、適切で有効な核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティの体制を持続すること。

防護核セキュリティ体制の持続にあたっては、核物質その他の放射性物質等の防護の体制の実効性の維持及び向上のための管理方法品質管理システムを含む適切かつ効果的な統合管理システムの開発、実施及び維持、リーダーシップの明示、原子力防護核セキュリティ文化の醸成を行うこと。また、核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティに関わる体制への継続的な人材、予算及び技術的能力配分、体制の維持管理及び機能確認、教訓及び最良事例の取り入れ、内部脅威者対策、防護核セキュリティの能力に影響を及ぼす問題への取組みを実施すること。

<上記本文変更の根拠となる基本文書の変更箇所>

3.12. Sustaining a Nuclear Security Regime

i. Developing, implementing, and maintaining appropriate and effective integrated management systems including quality management systems

統合管理システム（integrated management systems）という用語が追加された。

3.12. Sustaining a Nuclear Security Regime

ii. Demonstrated leadership in nuclear security matters at the highest levels

リーダーシップの明示により核セキュリティ体制を維持する規定が追加された。

3.12. Sustaining a Nuclear Security Regime

vi. Having in place processes for using best practices and lessons learned from experience

教訓及び最良事例を取り入れることにより核セキュリティ体制を維持する規定が追加された。

3.12. Sustaining a Nuclear Security Regime

vii. Establishing and applying measures to minimize the possibility of insiders becoming nuclear security threats

内部脅威者に対する措置の確立が追加された。

2. 核物質に対する防護（基本的考え方）

2－1 【潜在的危険性の評価防護対象の選定】

規制行政機関は、核物質の盗取、核物質を有する原子力施設及び核物質の輸送に対する妨害破壊行為がもたらす潜在的危険性の評価を踏まえ、防護の対象とすべき核物質、原子力施設及び輸送を選定すること。

また、その潜在的危険性の評価の妥当性を維持し、必要に応じて防護の対象とすべき核物質、原子力施設及び輸送を見直すこと。

2－2 【防護対象の重要度評価と防護措置の選定】

規制行政機関は、国の想定する**国内外の脅威**（盗取、妨害破壊行為、不法なアクセス、不法な譲渡その他の不法行為等）、核物質の**魅力度不正利用価値**、核物質、核物質を有する原子力施設や、輸送や**機微情報等**の潜在的危険性及び核物質、原子力施設及び輸送の特徴を勘案し、防護の対象の重要度に応じ、重要度の高いものには多重防護の考え方も考慮して、防護の措置を定めること。また、その想定する脅威の妥当性を維持すること。

＜上記本文変更の根拠となる基本文書の変更箇所＞

3.9. Use of Risk-Informed Approaches

iv. Potential harmful consequences from criminal or intentional unauthorized acts involving or directed at nuclear material, other radioactive material, associated facilities, associated activities, sensitive information or sensitive information assets, and

v. ~~sensitive information assets, and~~ other acts determined by the State to have an adverse impact on nuclear security.

核物質防護に悪影響を有すると国が決定した行為を考慮する規定が追加された。

（上記見え消しのような編集上のミスがあると思われる）

2－3 【防護措置の実施】

関係事業者は、防護の対象とされた核物質、原子力施設及び輸送に対して、規制行政機関が定めた防護措置を講じること。

2－4 【特に重要な防護対象に対する設計基礎脅威の設定】

規制行政機関は、防護の対象とされた核物質、原子力施設及び輸送のうち特に重要なものに対して、国が想定する脅威を勘案し設計基礎脅威(*)を設定すること。また、設計基礎脅威の妥当性を維持すること。(*)「防護システムを設計し評価する基となる不法移転又は妨害破壊行為を企てようとする内部者及び/又は外部敵対者の特性及び性格」 INFCIRC/225/Rev.4)

2－5 【特に重要な防護対象に対する防護措置の実施】

関係事業者は、防護の対象とされた核物質、原子力施設及び輸送のうち特に重要とされたものに対して、設計基礎脅威を基に、防護措置を講じること。

2－6 【連絡体制】

国及び関係事業者は、防護の対象とされた核物質、原子力施設及び輸送に対する盗取や妨害破壊行為が発生した場合における連絡体制をあらかじめ整備すること。

また、国は、核物質、原子力施設及び輸送に対する盗取や妨害破壊行為が発生した場合における、関係行政機関の連絡、対応体制をあらかじめ整備すること。

2－7 【防護措置に係る手順の制定、訓練、評価】

関係事業者は、防護の対象とされた核物質、原子力施設及び輸送に対する盗取や妨害破壊行為に対して、核物質防護規定等の防護措置に係る手順を制定すること。その手順には、悪意のある行為による人、財産、社会、環境に対する放射線影響を緩和または最小化する措置を含むこと。

その手順に基づいた訓練の実施並びに防護措置の有効性の評価を定期的に行うこと。

また、規制行政機関は検査等により、関係事業者の防護措置の適切性、有効性を確認すること。

3. その他の放射性物質に対する防護（基本的考え方）

その他の放射性物質は、核爆発装置の元としないことから核物質に比べ潜在的危険性は格段に低いと考えられる。

このため、防護の水準は核物質のそれとは異なるものとなる。また、数量が大きい線源又は大量の場合を除き、妨害破壊行為による潜在的危険性は小さいため、盗取に対する防護が主となる。

3－1【潜在的危険性の評価と防護対象の選定】

規制行政機関は、その他の放射性物質の盗取、使用施設等及び輸送に対する妨害破壊行為がもたらす潜在的危険性の評価を踏まえ、防護の対象とすべきその他の放射性物質、使用施設等及び輸送を選定すること。

また、その潜在的危険性の評価の妥当性を維持し、必要に応じて防護の対象とすべきその他の放射性物質、使用施設等及び輸送を見直すこと。

3－2【防護対象の重要度評価と防護措置の選定】

規制行政機関は、国の想定する~~国内外~~の脅威（盗取、妨害破壊行為等）、その他の放射性物質の~~魅力度不正利用価値~~、その他の放射性物質、その他の放射性物質を有する使用施設等~~や~~、輸送~~や機微情報等~~の潜在的危険性及びその他の放射性物質、使用施設等及び輸送の特徴を勘案し、防護の対象の重要度に応じ、重要度の高いものには多重防護の考え方も考慮して、防護措置の選定を行うこと。また、その想定する脅威の妥当性を維持すること。

<上記本文変更の根拠となる基本文書の変更箇所>

3.9. Use of Risk-Informed Approaches

iv. Potential harmful consequences from criminal or intentional unauthorized acts involving or directed at nuclear material, other radioactive material, associated facilities, associated activities, sensitive information or sensitive information assets, and

v. ~~sensitive information assets, and~~ other acts determined by the State to have an adverse impact on nuclear security.

放射性物質の防護に悪影響を有すると国が決定した行為を考慮する規定が追加された。

（上記見え消しのような編集上のミスがあると思われる）

3－3【防護措置の実施】

関係事業者は、防護の対象とされたその他の放射性物質、使用施設等及び輸送に対して、規制行政機関が選定した防護措置を講じること。

3－4【連絡体制】

関係事業者は、防護の対象とされたその他の放射性物質、使用施設等及び輸送に対する盗取や妨害破壊行為が発生した場合における連絡体制をあらかじめ整備すること。

また、国は、その他の放射性物質、使用施設等及び輸送に対する盗取や妨害破壊行為が発生した場合における関係行政機関の連絡、対応体制をあらかじめ整備すること。

3－5【防護措置に係る手順の制定、訓練、評価】

関係事業者は、悪意のある行為による人、財産、社会、環境に対する放射線影響を緩和または最小化する措置を含み、防護の対象とされたその他の放射性物質、使用施設等及び輸送物に対する盗取や妨害破壊行為に対して防護措置に係る手順を制定すること。

その手順に基づいた訓練の実施並びに防護措置の有効性の評価を定期的に行うこと。

また、規制行政機関は検査等により、関係事業者の防護措置の適切性、有効性を確認すること。

規制行政機関は過剰な防護措置が行われることにより、医療、工業等の分野における放射線利用に影響が及ぶことが無いようリスクとのバランスを考慮すること。

4．規制上必要とされるな管理から外れたの外にある核物質やその他の放射性物質への対応（基本的考え方）

4－1【犯罪法、刑法の確立】

国は、悪意ある行為核物質その他の放射性物質等に対する犯罪行為又は意図的な無許可の行為を犯罪又は違反とし、その重大性を考慮した適切な刑罰による懲罰を可能にすること。また、国が核セキュリティに悪影響を有すると決定した行為に適切に対処すること。~~その~~犯罪に対してはする国の司法権を確立し、犯罪容疑者の訴追又は引渡しに関して規定すること。

<上記本文変更の根拠となる基本文書の変更箇所>

3.5. Offenses and Penalties Including Criminalization

- i. Defining as offenses or violations under domestic laws or regulations those criminal or intentional unauthorized acts involving or directed at nuclear material, other radioactive material, associated facilities or associated activities.

核物質、その他の放射性物質、関連施設又は関連施設に対する犯罪行為又は意図的な無許可の行為を犯罪又は違反と定義する規定が追加された。

3.5. Offenses and Penalties Including Criminalization

- ii. Appropriately dealing with other acts determined by the State to have an adverse impact on nuclear security

核セキュリティに悪影響を有すると国が決定した行為に適切に対処する規定が追加された。

4－2【国際協力及び支援】

国は、国際協力及び支援の制度を確立すること。

国際協力及び支援として、通知、支援及び協力のための連絡先の通知、核物質やその他の放射性物質及び紛失又は行方不明となった物質が関連する悪意ある行為又はその確かな脅威の時宜を得た通報、法律上の相互援助を含む支援、核物質及びその他の放射性物質の回収及び防護に関する要請に対応する国際協力及び支援を含めることとする。

4－3【防護対象の選定】

関係行政機関は、~~防護を必要とする~~大規模な公的行事及び~~重要~~~~枢要~~な地点に対する事案の影響を踏まえ、防護対象を選定すること。また、防護対象の選定の妥当性を維持すること。

＜上記本文変更の根拠となる基本文書の変更箇所＞

3.8. Identification and Assessment of Targets and Potential Consequences

- i. targets under the State's jurisdiction are identified and assessed to determine if they require protection from nuclear security threats
- ii. the potential consequences should the targets be compromised are identified and assessed
- iii. An up-to-date assessment of such targets is maintained

3.8.i.において「標的」、「大規模な公的行事」及び「枢要な地点」が書き分けていたが、まとめて「標的」と記載されたことから、3.8.ii、iii.に対する対応を追加した。

4－4【~~核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティを脅かす~~事案の検知】

関係行政機関は、~~核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティを脅かす~~事案を検知し対応するために、~~核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティ~~体制において、適切で効果的な検知システムと手法を適切に定めること。

この検知システムと手法として、国の想定する脅威（不法な譲渡その他の不法行為）を踏まえ、関連施設における~~いて妨害破壊行為や盗取が達成される前~~の検知、核物質やその他の放射性物質の取扱や輸送中における~~核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティを脅かす~~事案の検知、大規模な公的行事及び~~重要~~~~枢要~~な地点における~~核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティを脅かす~~事案の検知、捜索中における対象物の発見の連絡、国境における検知を含むこととする。また、その想定する脅威の妥当性を維持すること。

<上記本文変更の根拠となる基本文書の変更箇所>

3.10. Detection of Nuclear Security Events

i. at associated facilities

「妨害破壊行為又は盗取が達成される前に」が削除された。

4－5 【~~身元帰属先~~不明線源の対応】

関係行政機関は、管理責任者が不明な核物質やその他の放射性物質が発見された場合に、速やかにその管理責任者を特定すること。

また、~~管理責任者~~が特定出来ない場合は関係行政機関が協力して、速やかに、当該物質を適切な規制上必要とされる管理下に戻すこと。

4－6 【~~核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティを脅かす~~事案に関する計画】

関係行政機関は、~~核物質その他の放射性物質等の防護核セキュリティを脅かす~~事案の対応のための計画を準備し、訓練し、効果を評価すること。

その計画として、国の想定する脅威を踏まえ、状況にあわせた対応資源の動員及び対応機能を実行する者の間及び物的防護と放射線安全の間の調整のための措置を含む、規制上必要とされるな管理を逸脱したの外にある核物質及びその他の放射性物質を発見し、回収し、安全な場所に保管するための計画、悪意ある行為に対する適切な捜査及び犯罪者の起訴を確実にするための計画を含むこととする。